

今日は3月11日

東日本大震災&原発事故から11年 私たち組合員の想いを届けます

原発事故から11年経っても、神奈川県には福島県から避難しておられる方が約2千人います。政府は、放射能を海に流すことで再び漁師を苦しめます。原発が起こすことは、人の命と交わることはありません！【あ】

浪江町に帰った方の言葉。「戻るのは年寄りばかり。子どもは少ない。みんな帰って来いと言えるのはまだまだ。」帰還困難区域の境目の現実。いまだ、溶け落ちた燃料を取り出すメドすら不明。溜まり続ける汚染水は海に流してしまえという、他者や自然界への思いやりもなく気にも留めない国や東電に、否と声をあげます。【ふ】

原発事故後、廃炉スケジュールが進まない中、汚染水問題も浮上している。他の所では人類がコントロールできない原発を稼働し続けていること自体があり得ないが、これが現状。金にものを言わせ企業と結託し、原発後押しする現政府には、早く退場を！子供たちに希望ある未来を！まずは原発停止！【な】

どんなに大きな歴史的イベントも10年以上経つと、「忘れる」「知らない」に加え、「偽物語」が作られることが多い。原因や事

実の究明が十分なされていない場合はなおさらである。そういう意味で毎月ピラを作ってまき続けることの意味は大きいと思う。【か】

ウクライナで今、ロシア軍の無差別攻撃により多くの子どもや市民が犠牲になっている。ロシア軍は、サボロジェ原発をも武力攻撃し管理下に置いた。原発がミサイル攻撃されたら、被害は地球規模に及ぶ。原発は、防御不可能で対応困難な危機要因である。今こそ国際連帯による対策と支援行動が求められている。【よ】

原子力発祥の地のアメリカやイギリスは地震があまりない。地震・火山大国の日本は、なぜ原子力に手を付けたのか。石油がなくなるから全世界に戦争を仕掛けたトラウマを引きずっているから？今すぐにでも原子力を止めないと手遅れになると思う。【か】

大震災と原発事故から11年経ちましたが、コロナ禍があり、人類が自然から警告を受けていると感じます。もっとお前らのやっている事を考えろ、と言われているのでは？【た】



全造船関東地協労働組合 一人でも誰でも入れる労働組合 **よこはまシティユニオン**

横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505 TEL&FAX 045-575-1948 ホムページ <http://yuniyoko.sakura.ne.jp> 【2022年3月11日】

私たちは、フクシマを忘れません。

政府は「核のごみ」を埋める場所を北海道の神恵内村や寿都町を狙っているが、飲料用の地下水汚染や海洋汚染の心配は消えない。北海道の漁業がダメになる。更に汚染水の海洋投棄など許されていていいわけがない。【い】

稼働のため巨大なエネルギーを使う原発は効率が悪い。熱エネルギーを電気に変換できるのは30%で、残りは海冷却水として海に捨てている。しかも核廃棄物・使用済み燃料の処理技術や方法は未確立。次世代に巨大な負担と取り返しのつかないダメージを残す。地球に優しい自然と調和した生活が出来る社会にしよう。【や】

11年経ってまだ帰れない人、帰らない人、帰る人。故郷を知らない私でも辛さを感じます。電気は足りてる。原発は、いらない！【い】

争いの絶えない世の中だけど、春に桜の香が溢れ、夏に雨のしずくが降るように、11日に原発反対の声響かせよう。秋に実りを喜びあい、冬に輝く夜空を見上げるように、共に生きよう。【ひ】

原発に頼らない社会を作りたい。毎月のビラ情宣活動を続けていくことは誇れることと思います。頑張りましょう。【こ】

コロナで、原発問題への関心が薄れているようですが、地震も火山もある日本では、原発は止めていかなければならないと思います。【み】

全造船関東地協労組とよこはまシティユニオンは、福島第一原発事故以来、毎月11日に「フクシマを忘れない」「原発再稼働反対」を掲げ、駅頭で情宣活動を行ってきました。

東日本大震災や原発事故を忘れないためです。そして、労働組合として何ができるのか一緒に考えたいと思います。

「福島どころじゃない」「自分の仕事と生活が大変」という方もいるでしょう。そんなあなたこそ、あきらめる前にぜひ、職場の問題をユニオンに相談してください。一緒に解決しましょう！

